



大阪空襲を語り継ぐ 平和ミュージアム

ピースおおさか



ウィークエンド・シネマ 5~7月

～ポーランド・ワルシャワ～

特別展「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」の開催にあわせ、第二次世界大戦前後のポーランド・ワルシャワを舞台にした映像作品を連続上映します。

各土曜日 午後2時～
予約不要(当日先着順、定員160名)
参加費無料(ただし入館料が必要)
【会場】ピースおおさか1階講堂

生きるべきか死ぬべきか

To Be or Not to Be

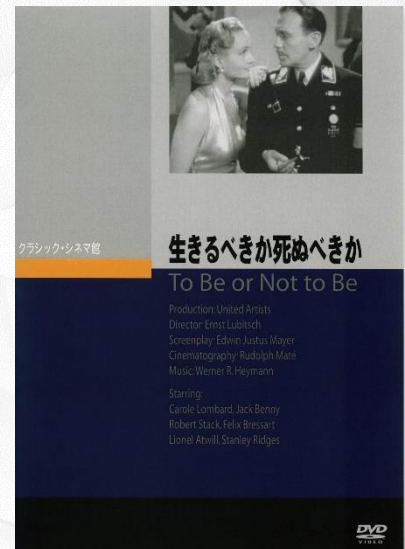
第二次世界大戦直前、ドイツの侵攻が始まったワルシャワを舞台に、シェイクスピアの「ハムレット」を上演していた劇団が諜報戦に巻き込まれる中、大奮闘する課程をスピーディーに描いた必見の傑作コメディ。

監督：エルンスト・ルビッチ

出演：キャロル・ロンバート、ジャック・ベニーほか

99分 1942年 アメリカ モノクロ 日本語字幕

5/4, 11, 18, 25



6/1, 8, 15, 22, 29

ワルシャワ蜂起

Powstanie Warszawskie



第二次世界大戦末期の1944年のワルシャワ蜂起。約20万人以上の民間人が犠牲になったといわれる壮絶な市街戦の一部始終を記録した貴重なドキュメンタリー作品。

戦時下の市内で国内軍の映画班が撮影したニュース・フィルムをもとに、ワルシャワ蜂起博物館全面協力によってカラー化や音声の追加録音がなされ、忘れてはいけぬ悲劇が再現されている。

※本作品には、凄惨な映像を含みますので、ご注意ください。

監督：ヤン・コマサ

上映協力：ワルシャワ蜂起博物館

85分 2014年 ポーランド カラー・モノクロ 日本語字幕

クシシュトフ・ケシロフスキ監督作品 2 作品同時上映

「トリコロール」三部作、「ふたりのベロニカ」で知られる
ポーランドの名匠 クシシュトフ・ケシロフスキ

7 月の上映では 2 作品を上映します。

7 / 6, 13, 20, 27

フォトグラフ

The Photograph

元兵士が 1944 年 9 月に撮影した 1 枚の写真をもとに、2 人の少年を探す模様に密着したケシロフスキ初期の TV ドキュメンタリー作品。

33 分 1968 年 ポーランド モノクロ 日本語字幕

ある過去に関する物語

Dekalog, osiem

旧約聖書の十戒をモチーフに、ワルシャワの巨大アパートに暮らす人々の人生模様を全 10 話で描いた連作ドラマ「デカログ」の第 8 話。

1985 年頃。ワルシャワ大学で倫理学を教えるゾフィアの元に、ゾフィアの著書を英訳したアメリカの倫理学者が訪ねてくる。

大学での講義で「生まれる命」の大切さを説くゾフィアに、彼女がある質問をする。それは、ゾフィアが抱えてきた過去を呼び起こすものだった。

出演：マリア・コシャルコフスカ、テレサ・マルチェフスカほか
57 分 1988 年 ポーランド カラー 日本語字幕

特別展「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」

2024（令和 6）年 4 月 16 日～7 月 14 日 1 階特別展示室で開催

【ところ】ピースおおさか 1 階講堂 【申込方法】申込不要(当日先着順)
【対象】どなたでも(小学生以下は保護者の方と同伴)
【入館料】大人 250 円、高校生 150 円、中学生以下は無料
65 歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、20 名以上は団体割引
【主催】公益財団法人 大阪国際平和センター(ピースおおさか)
〒540-0002 大阪市中央区大阪城 2-1 TEL 06-6947-7208
http://www.peace-osaka.or.jp FAX 06-6943-6080
【最寄り駅】JR 環状線「森ノ宮」北出口 Osaka Metro「森ノ宮」①番出口

